

第4問 次の文章を読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。(設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。)

(配点 50)

典つかさどルハ(注1)家塾シトス難ニ其人ヲ。A 嚴ナレバ則利チアルモ於子弟ニ而不能ハ久シクスルナルレバ。狎チアルモ則利ニ於己ニ

而負そむク其父兄之託ニ。

頃このころ、一鉅公(注2)招客訓キヲをしヘシム子ヲ。積日業不進(注3)、蹶蹶しゆくせきトシテ欲退カント。鉅公さとリ覺之ヲ置

酒、汎シひろク引キ自リ昔名流ノ後嗣類おほむねルヲ不振ハ、且曰ツハク、「名者ハ古今美器ニシテ(注4)、造物者深ク

吝をシム之ヲ。B 前人取ルコト之多ケレバ、後人豈ニ忘ニ復得タ。C 士人解悟シノあと其迹遂安ニシ。

張無垢ちやうむ云フ、「某見それがしレバ人家子弟ノ醇謹じゆんきん及俊敏者ナルヲ、愛スルコト之不啻たダニク如常人

之愛スルガ宝、唯恐ダ其埋没ルルノミナラ及傷損スルヲ之ヲ。D 必欲使之在尊貴之所。故ニ

教フルニ人家子弟ノ不敢ヘテ萌きざサ一点欺心モ。其鄙下刻薄ひかモ、亦タ為勸戒太息シテ而

感(注8)誘ス之ヲ。此平生所樂ねがフ為者ナリ。今教フルニ子弟ヲ、乃チ以主人厚薄ヲ為隆殺さい、

亦可^タ笑^{シト}矣^フ。」(注9) 渾然^{こん}忠厚^{タル}之氣、可^シ敬^{シテ}而仰^グ之^ヲ。

(注) 1 家塾——私設の塾。

2 鉅公——有力者、大人物。

3 蹶踏——おそれつつしむさま。

4 造物者——万物の主宰者。造物主。

5 張無垢——人名。

6 醇謹——素直でつつしみ深い。

7 鄙下刻薄——心がいやしく人情味がない。

8 感誘——感化して導く。

9 渾然——大きく、充実していること。

(周輝^{しゅうき}「清波雜誌」による)